

音訳者レベルアップ研修会

音訳グループやまびこ

〒115-0053 東京都北区赤羽台 3-21-12

助成事業の概要

“原本に忠実な情報を、聞きやすく伝える”ためにレベルアップすること、が目的である。学んだ内容を活動の中で生かしながら次の講習へと進むために、研修会を集中させるのではなく、5月から2月までの10か月にわたって計画をした。

また、きちんとした録音資料制作のためにも、
Ⅰ・明瞭な発声 Ⅱ・正確で伝わりやすい読みの配慮 Ⅲ・利用しやすいCDを制作する編集の技術、の3点に内容をしぼることにした。具体的には、Ⅰ・口腔トレーニング2回 Ⅱ・音訳講習6回 Ⅲ・編集講習2回である。それぞれに経験豊かな外部講師を招くために、助成事業の申請をしたものである。なお、平素の活動場所は北区立中央図書館であり、研修場所としても利用することができるため、準備などに便利であると同時に、私たちの研修状況を図書館に理解してもらう機会でもあると考えた。

事業の成果

研修会全般を通じ、今まで習得できずにいた点を知り、今後の方向性を得られたことは大きな成果であり、目的の達成度もほぼ満足できるものと考ええる。

Ⅰ・口腔トレーニング

私たちにとっての大きな問題として、加齢による言葉の不明瞭化・口中音（雑音）の増加がある。アンチエイジング対策として、食事の時の噛み方・笑顔をつくる努力など、日々の生活のなかで発音

に必要な筋肉を使うことを学んだ。

Ⅱ・音訳講習

音訳者の心構えに始まり、チラシ・広報紙・取扱説明書など、図書館資料（書籍・雑誌）とは別の印刷物の読み方に至るまで、ヒントを得ることができた。

視覚障がい者は様々なところから録音資料を入手して利用しているため、録音資料制作に関する一般的な制作の現状を知ることは必須である。今回の講師は広く活躍されている先生であり、音訳の勉強に限らず、多様な情報に触れることが可能であった。また、私たちが日々直面する細かな疑問に対してもその都度お答えいただけた。

Ⅲ・編集講習

編集にはパソコンを使用するため、編集内容の確認とパソコン操作の習得との両面から実習できた。我々は平均年齢も高く、多くはパソコン操作もスムーズではない。その点もふまえての講習であり、編集に気後れしていた者が前進できたと思う。

平素の活動の中では、仲間同士で注意し合い教え合うことになるので、素直に言いにくいことが多い。「外部講師にきちんと指導していただけることはよかった」との感想が何人もの参加者からあった。

今後の展開

研修会から得たものは多いが、それらを継続的に活動にいかせるか否かが大きな課題となる。終

了直後は前向きであった気持ちも、時間とともに
後退しがちである。

今後の展開として、まだ未習得の内容を補うた
めにも、ある程度定期的に外部講師に指導を依頼
する必要性を強く感じている。

また、音訳者の世代交代を考える時、経験者が
常にレベルアップを心がけ、経験の浅い人たちへ
のよき先輩になれるよう努力したい。

以上